

平成30年度 農林水産業版タウンミーティング（農業版：青森東部地区）会議概要

日 時：平成30年8月10日（金）18：00～19：30

場 所：荒川市民センター 2階 会議室（A）

参加者数：14名

市側出席者：市長、農林水産部長、農業委員会事務局長、農林水産部次長、農林水産部参事（あおりり産品支援課長事務取扱）、農業政策課長、農地林務課長、農業振興センター所長、農業委員会事務局次長

■主なご意見・要望等

○大別内の大水門が老朽化しているので、改修して欲しい。また、大別内堰から上野地区への水路が土砂で埋まってしまっているので、泥上げをして欲しい。

⇒大別内堰の水門は、昭和35年に設置された重要な施設であり、設置後58年を経過していることもあり老朽化が進んでいることから、県の土地改良事業団連合会に渇水期（冬期）に点検を依頼することとしており、この結果を踏まえて協議・相談を進めていきたい。

大別内堰から上野地区への用水路については、道路冠水の原因特定など、大別内水利組合と現地調査を行ったうえで、対応を検討していきたい。

○多面的機能支払交付金や、それに限らずいろいろな交付金制度の手続きが、複雑で難しいと思う。手続きを簡素化するような工夫をして欲しい。

⇒多面的機能支払交付金については、国に補助金を申請するという性格上、事業計画書や活動記録などを提出する必要があるため、活動団体が作成するのが原則である。

国や県においては、提出書類の記載例をまとめた手引書を配布しているほか、記載項目を記述式からチェック式に変更したり、パソコンを活用した活動記録ソフトによる書類作成などにより簡素化を図っており、また、県、市町村、土地改良事業団体連合会などで構成する「青森県多面的機能支払推進協議会」において、毎年、研修も行っているため、ご活用を検討していただきたい。

この他、市でも毎年、青森地区、浪岡地区それぞれ1回研修を行っており、また、活動団体の経理や活動記録の作成については、JAや土地改良区などに委託もできるので、ご検討いただきたい。

○青森市ぶどう協会は小規模の会だが、なかなか新しい会員が入って来ない。新規就農者にぶどう栽培にも興味を持ってもらうため、当協会が年に5回ほどやっている青空教室に参加してくれるよう、市からも呼びかけて欲しい。

⇒新規就農者の確保・育成のために「あおりり就農サポートセンター」を設置しており、特産果樹についても紹介している。新規就農者が講習会に積極的に参加できるように市でも力を入れていきたい。